

11月号

第334号

いっしん

平成24年(2012年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP) http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

いかにせば
己が姿の
直くなる
神のこころに
そひまつるまで
甘木親教会
初代親先生み致



矢野サダ子大刀自



金光様弔辞 森義信先生 代読

故矢野サダ子大刀自 告別式が

しめやかに
仕えられました

■教主金光様弔辞

故 矢野サダ子先生の御前に
謹んで申し上げます。

あなたは、御神縁のままに、
願いを立てて、わが道の教師と
なられ、六十五年の長き年月、
一筋に、神と人とあいよかけよ
で立ち行くあり方を、世界に顕
現するはたらきをお進めくだ
さいましたことは、まことにあ
りがたいことであります。

いま、あなたの御帰幽にあい、
痛惜にたえません。

ここに玉串をすすめ、哀悼の
意を表し、霊のお道立てと、あ
とあとの大みかげを祈ります。

平成二十四年十月六日

金光教教主

金光 平輝

■弔辞（鹿児島地方教会連合会長）

昭和三十三年十二月十日任命教師
番号二六九二番、金光教師 矢野
サダ子先生の御前に鹿児島地方教会
連合会を代表しまして謹んで申し上
げます。



鹿児島地方教会連合会長
志布志教会長
馬渡三郎先生

先生のお国替えの知らせを頂き、
今日までの尊き御用と霊様のお道立
てを、御礼お願いさせていただきま
した。

先生には、私共一同、青年教師時
代よりいろいろとお世話になり、御
礼の申しようもありません。

特に私事ではありませんが、昭和五
十六年の結婚に際しましては、一日
媒酌の労をお願いせよとのお話しに
なり、ご無理を申したことがありま
した。そのときも快くお受け下さり、

恐縮致しました。しかし、何も御礼
らしきこともしておりません。

あれから三十年、この場を借りて
御礼申し上げます。有難うございま
した。

連合会活動にありましても、当教
会を挙げてお取り組み下さり、厚き
御祈念を賜っておりますことを改め
て御礼申し上げます。

夫婦付随の御用の中で、平成十一
年二月には、背の君政美背との悲し
い別れを迎えられました。大みか
げの中に現教会長夫妻と心を合わせ
力を協えて御用の進展のおかげを頂
いてこられました。

平成二十三年頃よりご高齢のこと
もありご体調を崩され、平成二十四
年の四月頃まで、入院加療を繰り返
されながら過ごしておられた様子で
した。

教師を拝命されて以来六十五年に
渡り、生神金光大神お手代わりの御
用、厚く御礼申し上げます。

どうぞこれからは、当教会をはじ
め、鹿児島地方教会連合会の上に御
霊の御働きをいっそう賜りますよう
お願い申し上げ御礼とお別れの言葉

と致します。

鹿児島地方教会連合会会長
志布志教会長 馬渡三郎

■弔辞（「さつま会」代表）

矢野サダ子先生のご霊前に、金光
教鹿児島地方教会連合会・教会家庭
婦人の集まり「さつま会」を代表し
て、お別れの言葉を申し上げます。



さつま会代表
出水教会長
嶋田喜代子先生

ことのほか厚さ厳しかった今年の
夏、お元気で過ごしたこととお聞
きしておりますのに、秋風が立ち、
ようやく涼しくなってきました
今月三日の訃報に、驚きと悲しみで
いっぱいです。先生には長年、さつ
ま会の中心として、毎回、貴重な信
心体験に基づいたお話しを賜り、若
輩の私たちはいつもその言葉の重
みに、わが身を振り返らされること

ばかりでした。
いつも穏やかであられたお姿が偲ばれます。

私が存じ上げているのは、さつま会の中だけのサダ子先生ですが、荒地布教の中を先代の教会長先生と共に歩まれた御用の厳しさは、私達の思いも及ばないものであったと推察されます。

私の御用頂いている出水教会もそうですが、初代先生ご夫妻のご苦労あつてこそ、今の御用ができて頂いていることを切に思います。

お広前に座ると先生方のご苦労は無論のこと、ご信者さん方の難儀、悲しみの涙が、お取次を頂くことによつて、おかげへと展開して嬉し涙に変わつていった喜びのざわめきが聞こえてくるような思いがいたします。

サダ子先生もご存じのように、一昨年、私は教会長でありました夫をなくしました。「生きても死んでも、天と地とはわが住みか」また「目には見えないが、神の中を分けて通っているようなものである」との御教えを頂いて、空気のように目には見

えないけれども、神様と御霊様方の間で生活させていただき、み働き、お守りをいただいて、御用させていただきます。感じております。

これからはどうぞ御霊ながらに、加治木教会のご比礼は勿論のこと、遺されたご遺族の立ち行き、さらにはさつま会の発展を見守り、お導き下さいますようお願いいたします。
矢野サダ子先生、長年に亘る御用、まことにありがとうございます。

厚く御礼申し上げます。

さつま会代表・出水教会長
嶋田喜代子

■弔辞（加治木教会 信徒代表）



親奥様のご霊前に、謹みて申し上げます。
前々まきの親先生と、この加治木

の地に、ご布教になられました、六十一年の長きにわたり、私達信者一同の信心の向上をお祈り下さり、お取次ぎ下さり、慈愛深くお育ていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

お若い頃より、ご病氣と向き合われての御用であられましたことを、のちに聞かせていただきましたが、すぐには信じられないほどの驚きでした。

そのため、最後まで、ご健康のことには何倍もご努力と実行を重ねられてのお姿を拝し、恐れ入るばかりでありました。

少年少女会や、青年会の子ども達がお参りさせていただきましたと、大変お喜び下さり、やさしくお育てをいただきましたことは、一人一人の胸に深く思いとして頂いておりますことをこのたびの訃報に接し、改めて思わせていただきます。

最後までお命の限り、「御礼、お詫び、そして実行させていただきましたこと」をみ教え下さいました。

少しでもお喜びいただけるよう努めさせていただきますと思います。

想い出は尽きませんが、この上はどうぞ、ご家族の上を、加治木教会の信者一同の上を、お導き、お守り下さいますようお願い申し上げます、お別れの言葉とさせていただきます。

加治木教会 永原 久子

■お別れのことば (孫代表)



矢野家 孫代表
矢野 彰子・徳子

お祖母ちゃん、少しは楽になりましたか、お祖母ちゃんが部屋からいなくなると三日経りましたが、ふすまを開けたら、まだお祖母ちゃんが「今日も来たったとね」と言ってくれるような気がして、お祖母ちゃんがいなくなったことがいまだに信じられません。

去年の今頃は、二人でよく温泉に行ったら、買い物に行っていたよね。

お祖母ちゃんはいつも私の仕事の休みや早番の日に、早く返ってくるのを楽しみに待っていたので、仕事で疲れていてもお祖母ちゃんが喜ぶからと思うとどこでも連れて行けたよ。

お祖母ちゃんが入院したとき、病院に行くといつも「神様は見ておられるからね。神様のお帳面に良いことも悪いこともちゃんとつけておられるんだからね」と、神様のお話しを聴かせてくれたよね。

お祖母ちゃんは入院を嫌がっていたけど、退院したときは私たちもほんとうに嬉しかったよ。

でもこんなに早くお別れがくるなんて思ってもいなかったよ。お祖母ちゃんは最後の日、何か言いたそうにしていたよね。そのままずっとそばにいてあげれば良かったと、何度も悔やんだよ。

でも、ずっときつそうにしているお祖母ちゃんを見ているのは、正直、ほんとうに辛かったから、楽になってよかったね。

これからは、霊様として私たちが

見守って下さるんだよね。



私たち五人姉妹や、教会のことを心配していると思うけど、霊様になったお祖母ちゃんに怒られないように、加治木教会の少年少女会や青年会活動もシッカリやっていくからね。できるだけ姉妹げんかもしないように、仲良く協力できるよう頑張るからね。

いつも私たちのことを心配してくれて、お願いをしてくれていてありがとうございます。

これからは、神様、霊様、お祖母ちゃんにお礼とお願いをさせてもらうからね。

たくさんのお話を教えてくれてありがとうございます。天国で政美お祖父ちゃんと仲良くしてね。

矢野家 孫代表

■喪主挨拶 (矢野 章)

〔終祭・告別式挨拶の要旨〕
 本日は、お忙しい中、また、ご遠路のところ、ご会葬いただきまして誠に有難うございました。



義母矢野サダ子は、昭和二十六年、加治木の町は戦災で木板葺きやバラック建ての家が立ち並んでいて、まだ戦争の傷跡が残るこの加治木の町に、夫政美先生と二人で布教をさせていただき、六十一年間お道の御用におかげを蒙らせていただきました。義母は、結婚間もない二十三才のときに肋膜炎を患い、一緒に入院治療をしていた外四人は皆亡くなられる中に、矢野クラ刀自(政美大人の実母)が、甘木親教会初代親先生に御取次

を頂き、お祈りを賜り、まさに一命無きところをおかげ頂き、やがて夫婦でお道の教師へお取立てをいただきました。

その矢野クラ刀自は、主人仁吉郎様が亡くなられた翌春の農閑期に、家族の誰の手をとることなく亡くなられました。

そのため義母は時々「私も義母矢野クラ刀自のようにポックリ往生のおかげを頂かせていただくようお願いしとります」と話すことができました。

九月三日のお国替えの日、早朝より体調が調わず、午後には自力でお手洗いに行くことができなくなりました。

そのため、二度ほど私の手を借り両脇を抱えてもらってポータブルトイレに座りますとへこまで手をかけてしまうようになってしまった。と、とても残念そうな様子をしていました。それから様態が急変しまして、夕方お国替えをさせていただきました。

そのことを思いますと、矢野クラ刀自のように、ポックリ往生のおか

げを頂ききったことと思います。

また、まさに親の信心に助けられその信心を受け継ぎ、九十三年のお道の教師としての生涯を見事に閉じることができたように思います。

今日まで、皆様方のお祈りを賜り御用におかげを蒙らせていただくことができてきましたこと、故人に代わり厚く御礼申し上げます。



鹿兒島地方教会連合会主催
第三回 信徒部研修会
 に参加して

九月十六日(日)

永原 久子

台風十五号が近づくと、親先生と信徒三名で参加させていただきました。鹿兒島県下から三十名の出席でした。

まず二名の方が信心体験発表のお話しをされました。



宮之城教会 伊東 星さん

最初に、宮之城教会の伊東 星さんが『神様の中に生かされて』とのテーマで、三代目の信心で、二才のときにポリオにかかり右足が不自由に なられて治らなかつたけれど、理容の仕事を通じ、ボランティアで表彰されるなどいろんな人との出会いに恵まれて有難いことだと話されました。



鹿兒島教会 中野義則さん

二人目は、鹿兒島教会の中野義則さんが『御神縁を頂いて』と題し、信心されている奥様との結婚で、新築の際、宅祭をお願いされてから朝参りを続けられ、輔教のお蔭を頂かれる中「お差し向けの御用」に取り組まれて、脳出血のときも、十五日間で退院されたそうです。常に「お差し向けの御用」のことが頭から離れないということです。今も介護のお仕事をされながら県連(連合会)の信徒会の御用もされています。



連合会信徒部会長 大口 入木田 覚さん

また、その後、連合会信徒部会長の入木田 覚さんが、

- ① 「おかげの自覚と信心の整理」、
- ② 「教会の活性化」(信徒の立場から)

5) についてのお話しされ、来年の教祖百三十年祭に向けて、いかに信心の取り組むかについて、それぞれにとつての「百日信行」設定の仕方など、ご自身が取り組まれてある具体例を挙げて説明されました。少しずつ御用のおかげを頂き「御礼の信心」へと思いを新たにしました。



第三回 信徒部研修会で、

入木田 覚さんが提案される

私の平成二十四年度

から始まる

百日信行

教祖百年大祭(十月十日)までを三回に区切って取り組む、その区切りは、

第一期

平成24年 9月23日～12月31日

第二期

平成25年 3月8日～6月15日

第三期

平成25年 7月3日～10月日



信行の取り組み内容

- ① 目が覚めたとき「今日も命と健康を頂いて、生かされていること」にお礼を申す。
- ② 排便・排尿時にお礼を申す。
- ③ お水を頂くとき、使うときにお礼を申す。
- ④ 茶の間に「食事訓」を貼って、朝・昼夜の食事ときむ唱えぬ。
- ⑤ 夫婦そろっての日参(時間に遅れぬよう)・御用奉仕に心がける。
- ⑥ 車の乗り降り時に、お礼とお願いを申す。
- ⑦ 朝夜、家でも夫婦そろって御祈念を仕える。
- ⑧ 人の悪口を言わない。
- ⑨ 人を責めない。
- ⑩ 腹を立てない。
- ⑪ 一日に一度は、金光教の教えに関する本を読む。
- ⑫ 取り組みがどれだけできたか、表を作って記録する。

※「百日信行」取り組み記入表は、教会に準備しています。拡大コピーしてご利用下さい。

この信行の三分の一、四分の一でも、まず取り組みうとして踏み出すことが大切です。

その次には、取り組みが続いて行くための、創意工夫が生まれ、だんだんと身に付くことにつながって行くでしょう。

(教会長)



教祖金光様御理解第六節

目には見えぬが、神の中を分けて通りおるようなものじゃ。畑で肥をかけておるうが、道を歩いておるうが天地金乃神の広前は世界中である。

教祖金光様御理解第五十節

とかく、信心は地を肥やせ。常平生からの信心が肝要じゃ地が肥えておれば、肥えをせんでもひとりでに物ができるようなものぞ。

甘木親教会初代親先生

安武松太郎師のみ教え

ものごとの善悪ということは人間の心の定規で決めただけでは真実のものではなく天地の定規に合わないかも知れないのであります



忙しい現代社会は、いろんなことが便利になってきているものの、仕事や時間に追われ、目に見える目先のことだけに心がとらわれてしまいがちです。

私たちの身のまわりには、はかり知れないほど広大な、天地自然の恵みがあり、その中に生かされ生きています。

地球は太陽のエネルギーのおかげで、四季があり生物が育まれます。太陽から放出され地球に届いている太陽エネルギーは、その二十億分の一でしかなくそうです。

それだけ考えても、太陽のエネルギーの大きさは計り知れません。

当たり前前に地球に恵まれてある、日光・水・空気・四季の移り変わりや夜の明け暮れは、宇宙的スケールから見ると、ほんのわずかな小さなわずかなもので「大海の一滴」「九牛の一毛」ほどしかありません。

ヒトは仕事や時間、目先の問題に追われ、とらわれ、イライラしたり遠回りをしたり、不機嫌になり不平・不足不満ばかりになりがちです。

どれほど豊かで、計り知れぬほど

霧島山 大浪の池



素晴らしく広大で偉大な恵みの中に生かされて生きているかということに気づいていません、心の眼を向けていませぬ。

時々、余裕のある心で、天地自然、宇宙までも、心の眼で眺め、感謝・御礼の心を捧げてみましょう。

神様の計り知れない愛情やお恵みの中に生かされていること、その素晴らしいことに気づかずに通ってしまっています。「神様の中を分けて通って」いることに気づき、神様との心の距離を近づけていきましよう。

日頃から、天地の大み恵みに心の眼を開いて、感謝・御礼の心を捧げる「お礼を申す」稽古をして、信心を、いわば心の土壌を豊かに育てておきたいものです。(教会長)

御本部

生神金光大神大祭 参拝

十月六日(土)〜七日(日)

十月六日(土)、台風十七号が鹿児島県南東海上を北上するという天気予報に、風が弱くなることを予測して少し安堵の胸をなで下ろして、午前七時半に御祈念の後、お湿りのお恵みの中、商用車で加治木教会を出発しました。

今回は宮崎県の団体バスに山江サービスエリアから乗り込ませていただきました。



近隣参拝者をお見送りするお退け金光様教

予定午前九時半前には山江サービスエリアに到着し、間もなく宮崎市内を出発した貸し切りバスも到着し、大淀教会・宮崎北教会の皆さんと一緒に、一路御本部へと向かわせていただきました。

初秋の山陽道は、遠く瀬戸内の海を眺め、山間に敷き詰められた稲が色づいて黄金色に染まった絨毯模様を

楽しみながら、午後四時過ぎに御本部(下淵駐車場)に到着させて

見送りに間に合うことができ有難いことでした。

七日(日)の御大祭のご教話は、大分県日田教会長 堀尾光俊先生で「信心の値打ち」という講題で尊いお話がありました。

インターネットで拝聴することができ、ますので「金光教」のホームページを検索してみてくださいませんか？

あしあと

10月

- 1(月) ● 報徳月例祭 10時半
- 併せて 教祖御生誕祭
- 7(土) 中村家霊祭
- 8(祝) <校区公民館運動会>
- 9(火) 斎掃御用 10時
- 10(水) ● 先鋒光月例祭 10時半
- 10(水) ● 大神様月例祭 10時半
- 13(土) ▼ 十日祭 (大野少子)
- 14(日) 人吉教会御大祭 11時
- 20(日) 斎掃御用 10時
- 21(日) 朝参拝日 6時
- 22(月) ● 泉田教会 小嶋明敏大人 三年祭
- 22(月) ● 月例祭・共励会 13時半
- ▼ 二十日祭 (大刀貞)
- 夜の月例祭 (新着向け) 20時
- 28(日) 上荒田教会布教85年記念大祭
- 31(水) 斎掃御用 10時

ご霊神様のおまじ

十一月

- 中村光志之霊神 (12日) 平成19年
- 大重為昭之霊神 (13日) 平成12年
- 吉屋アイ之霊神 (14日) 昭和56年
- 瀬尾清博之霊神 (17日) 昭和49年
- 大重愛子之霊神 (20日) 平成2年
- 桐野ハル之霊神 (21日) 昭和63年
- 金竹ナミ之霊神 (24日) 平成19年



「ご先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

十一月十一日(日) 十一月
前日 御用奉仕
加治木教会

生神金光大神御大祭奉仕

※(祭典後、教話・直会。
講師人吉西教会長 森明 先生

御大祭・記念祭・式年祭

【11月】

- 4(日) 東郷教会 90年記念祭 11時
- 〃 西鹿児島教会 115年記念祭 12時
- 11(日) 加治木教会御大祭 11時
- 18(日) 志布志教会 85年記念祭 11時
- 〃 鹿児島教会御大祭 11時

19(月) 矢野サダ子大刀自
五十日祭 十一時

(一)祭主 甘木親教会 安武親先生

25(日) 高千穂教会 55年記念祭 11時

【12月】

- 3(月) 甘木親教会御大祭 第一日
- 4(月) 甘木親教会御大祭 第二日

十月二十八日〜十一月九日

御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時二十分・午前十時
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

11月

- 1(木) ●報徳月例祭 10時半
〃 ▼三十日祭 (矢野サダ子 大刀自)
- 4(日) 東郷教会開教会 90年記念大祭
- 〃 西鹿児島教会 115年記念大祭 12時
- 9(金) 斎掃御用 10時
- 10(土) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半
〃 ▼二十日祭 (矢野サダ子 大刀自)
- 〃 加治木教会御大祭前 御用奉仕
- 11(日) 加治木教会御大祭 11時
- 15(木) 連合会執行部会 (上荒田 教金) 10時半
- 18(日) 朝参拝日 6時
- 〃 鹿児島教会御大祭 11時
- 〃 志布志教会布教 85年記念大祭
- 19(月) ▼五十日祭 (矢野サダ子 大刀自)
- 21(水) 斎掃御用 10時
- 22(木) ●月例祭・共励会 13時半
〃 ●夜の月例祭 (若者 感謝 務者向け) 20時
- 25(日) 高千穂教会布教 55年記念大祭
- 30(金) 斎掃御用 10時

※若婦人会 13時半 (未定)

☆少年少女会・青年会・若婦人会は、都合により日程の変更や、決まりしだい連絡することがあります。

12月

- 1(土) ●報徳月例祭 10時半
併立教記念祭・新穀感謝祭
- 〃 吉屋家霊祭
- 3(月) 甘木親教会御大祭 第一日
- 4(火) ●甘木親教会御大祭 第二日
- 9(日) 斎掃御用 10時
- 〃 御本部布教功労者報徳祭
- 10(月) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半
- 13(木) (連)布教協議会 (上荒田 教金) 10時半
- 21(金) 斎掃御用 10時
- 22(土) ●月例祭・共励会 13時半
- 〃 ●感謝パーティー 17時より
- 29(土) 斎掃御用 10時
- 30(日) ●越年祭 13時半

十一月十八日(日) 午前六時
朝参拝日 毎月
第三日曜

家族そろっておかげを蒙らせて
いただくことを目標にしましょう。

加治木教会 バンド練習会

毎週金曜日 夜七時半からの予定です

来年六月十六日(日)加音ホール 小ホールで
連合会教祖百三十年大会が開かれます。
みんなで発表できるように練習しましょう。